

エスペラントは心の国境を消すことばです

Organo de Hokkajda Esperanto-Ligo

Heroldo de HEL

N-ro 172

Julio 2017

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- ・表紙、Enhavo/目次 P. 1
- ・Raporto pri Fru-somera Kunloĝado de HEL 2017 P.2
2017年 HEL 初夏合宿報告/後藤純子
- ・Mezgrada Kurso en Hokkajda Fru-somera Kunloĝado P.8
2017 / 2017 年度 HEL 初夏合宿中級クラス/HOŜIDA Acuŝi
- ・Fotosceno ĉe la Fru-somera Kunloĝado/合宿写真 P.17
- ・Ni brokantis 254 librojn /北大祭出店/覚知頌春 P.18
- ・エルブラ祭り 2017/後藤純子 P.19
- ・Danke ricevitaj (星田淳扱い読みたい方はご連絡ください) P.20
- ・Protokolo de la 4-a Komitata Kunsido de HEL/Kasjaro 2017 P.22
2017年度 第4回北海道エスペラント連盟委員会 議事録
- ・[編集後記/Redaktanto parolas] P.24

Raporto pri Fru-somera Kunloĝado de HEL 2017

2017年HEL初夏合宿報告

後藤純子

- 日時：6月3日（土）13:00～4日（日）12:30
- 会場：柴田内科循環器研修センター（札幌市西区西野1条7丁目）
- 参加者数：11名（HEL会員9名、会員外2名）
- クラス別人数と指導者
 - ・入門（講師：阿部映子）→1人
 - ・初級（講師：横山裕之）→1人（受講者4日のみ）
 - ・会話（講師：川合由香）→2人（講師3日のみ）
 - ・中級（講師：星田淳）→2人（受講者4日は3人）
 - ・フリー：（後藤純子）

○ゲームと歌

1日目：学習後、全員集合で昨年好評だったゲーム（Parajabiloj-リレー会話）を楽しんだ。これは、昔、KLEGの合宿等でよく流行った、向かい合わせになって会話し、合図があったら、一人ずらして相手を変えて行くゲーム。

人数は、少なかったが、和気あいあいと会話を楽しめた。

2日目：解散の前にみんなで東日本大震災犠牲者に捧げる「鎮魂の歌」（Rekviemo）を星田さんの指導で合唱し、全員が「一言感想」を書いて締めくくった。

（反省と感想）

・入門講座のチラシは、300枚用意して、かでの、エルブラ、地下歩行空間に置いてもらい、川合さんには北大図書館に持って行ってもらったり、北大大学院生の覚知さんにも北大内でチラシ配布を協力してもらったが、効果はなかった。し

かし、今回2年ぶりに北海道新聞の夕刊に「入門講座の案内」が掲載されて、申し込みは2人だったが、参加は一人になった。日程が、北大祭と重なり、いつも、来てくれる北大生の参加がなく、さびしかった。また、昨年は、子どもクラスを設けることができたが、今年は、参加の意思表示をしていた子どもたちも、北大祭に行くとかで、こちらには、来てくれなかった。(北大祭は、地域の子ども達にも人気があるらしい。) 委員会で今回の日程を決める時に、私を含めて、誰も北大祭の日程と重なる事に気づかなかつたのは迂闊だった。と、いうわけで、今年の参加者は、去年の半数になった。

- ・ 上記のとおり、北海道新聞の夕刊に入門講座の案内を掲載してくれたが、記事の中に「ポーランドの眼科医が創案した国際共通語「エスペラント」を学ぶ2日間の入門講座。ゲームなども楽しめる」と、いう文章が入っていたことは、大変よいエスペラントのPRになったと思う。

- ・ 入門講座の参加者は、一人だったが、とても熱心に受講されて、他の参加者は、励まされた。これから、続けられるかどうかは、未定であるが、少なくともエスペラントの理解者を増やす事は、出来たと思う。

- ・ この合宿の目標の一つは、「会員の学力向上」だと思うが、それは、講師のおかげで、達成されたと思う。それぞれに資料作成など、多くの時間と工夫で貢献して下さい。お疲れさまでした！(後藤純子)

(参加者の一言感想)

- ・ エスペラントに興味を持ったきっかけは、高校(昭和41

年卒)の同期生(沢田徳子さん)が、「ザメンホフの生涯」の本を送ってくれて、昔、エスペラント語の話を聞いていたので、少し、エスペラント語について学んでみようと思っていたところ、数日後に北海道新聞にエスペラント夏期講習の案内が載っていたので参加することにしました。思い切って前に進んでよかったです。

エスペラント語について、少しわかりました。エスペラント語は、数カ国語が混ざっているけれど、書き言葉と話し言葉が一致していて、頭と目に入り易いです。

耳からとなると訓練が必要と感じました。学習会については、2日間という短い時間の割には、勉強したなーと言う実感があります。皆さん親切な指導でした。ありがとうございました。

Dankon!

(入門クラス、初めての参加:香取民生)

・ 入門クラスの担当で、一般参加者一人だけの1対1の勉強となってしまうました。でも、香取さんは、英語、ドイツ語の素養もあり、飲み込みが早く 予定していた分は、1日でほぼ終了して、2日目のテキストを1日目終了後にコピーしました。エスペラントの便利さは伝えられたと思います。やはり、難しく、間違えやすいのが、アクセントの位置と C,Ĉ,S,Ŝ,L,R,H,Ĵ の発音と、Ŭ,Ĵ が子音であることでの理解です。

香取さんは、お友達が、ザメンホフの伝記の絵物語の本を送ってくれたので、興味を持って参加してくれたそうです。

(入門クラス講師:阿部映子)

・ 2日目のみの飛び入り参加のような形でしたが、横山先生に教えて頂き、普段、馴染みのないコンピューターやアイヌ語に関する文章をチンプンカンプンながらも、楽しくエスペラントに触れさせていただきました。実にHELのエスペラント合

宿には、約40年ぶりの参加でした。

万年komencantoからの脱出を目指していますが…ありがとうございました。

(初級クラス: 留目昌子)

星田さんのクラスに参加しました。検定試験についての話でしたが、なかなか気づかない話を聞けてよかったですと思います。また、初級クラスの講師を引き受けましたが、準備不足だったので、今後は、十分に準備してから行いたいと思います。星田さんの講義は、きちんと準備されていて、大変よかったですと思います。興味深い話を聞けました。否定疑問文に対する答え方について、西洋と東洋で違う方法の話とか、分子構文を作る際に主文と従属文の主語を一致させるとか、気づかない事を気づかせてくれました。

(1日目: 中級クラス、2日目: 初級クラス講師: 横山裕之)

・ 今回は、ちょっと変わった学習だった。初日の朝、実施したJEIの試験問題について、JEIの出題者の思いを文中で分析したり、キーワードのいくつかを徹底的に調べ上げたり、試験答案の勘所など。楽しい時間を過ごす事ができました。

(中級クラス: 後藤義治)

・ 最後の1時間しか参加できませんでした。もったいなかった! 日頃、勉強をしていればしているほど、身に付く事の多い合宿になるんだと思いました。いつものメンバーとは違う人達の意見も聞けて考えさせられた。

(中級クラス: 山下博子)

例年と違ったのは、若い人(北大生など)が大学祭のため、欠席し、人数が少なかった。検定試験の後を受けて、試験そのも

のを教材にする予定だったが、申し込んだ受験生3人の内、実際受験したのは、1人。どうも、想定外のことが多かった感じ。しかし、私の中級クラスで言えば、教材の試験内容が、なかなか面白く（くせ者の問題？）、楽しめる学習だった。準備した教材も、あれこれと多くなったが、あれをきちんとやったら、3級、2級も合格出来るレベルになるかと思う。次回は、多くの人の集まれる機会を作りたい。

（中級クラス講師：星田淳）

・ 3日の1泊研修に参加出来て、本当によく準備して臨まれた講師先生に、感謝です。

帰宅しても、興奮していたのか、なかなか寝付けず、気がつくど、何と、一日の事を、エスペラントで色々思い巡らせていました。多少は意識的であったにしても、相当長時間だったので、自分でも驚きでした。エスペラント漬けになる効果ってすごいですね！

（会話クラス：柳幸三郎）

・ 会話クラス

川合さんに色々準備して頂き、楽しめました。人物説明を聞いて、当人を当てる問題、その後の人の一生を辿って説明する問題、エスペラント語の使い方には有益な刺激を受けました。

・ 中級クラス

否定形での質問に対する Jes, Ne で答える時の注意点、改めて強い警告を受けました。慣習の違いを越えるのは、実に難しいことです。

（1日目：会話クラス、2日目：中級クラス、白濱晴久）

・ 講師の都合で、3日一日のみとなってしまった会話クラスでしたが、小人数ながら（或は少人数だから？）、大いに盛り

上がりました。

昨年、好評だったゲーム“Kiu mi estas?”で耳と口を少々慣らした後、“Vivo de Japano”と題して、日本人の一生について”Antaŭ la naskiĝo” “Naskiĝo™に始まり、” Infanoj™や”Studentoj”などを経て”Morto” ” Post la Morto”に至るまで、思いつくまま自由に話して頂きました。

講師（45歳女性）は、例えば、”Antaŭ la naskiĝo”とくれば、antaŭ-naskadiagunozo（出生前診断）を、”Infanoj”なら”Manko de infanejo”（保育所不足）などを連想するのですが、受講者の柳さん、白濱さんは、そうではなく、幼少期の戦争体験をたくさん語られました。そのため、講師が自分用にこっそり作っていたカンニングペーパーは、全く役に立ちませんでした。しかし、会話の練習には、「自分が伝えたいと思う事を話す（コミュニケーションの必然性）」が基本なので、それはそれで嬉しいことでした。

持ち時間を持って余したら困るな、と思って合宿に望みましたが、その心配は、無用で、時間の経つのを忘れる楽しい半日になりました。お二人には

“Dankon pro via kunlaboro!”です。

（1日目会話クラス講師：川合由香）

Sceno el la Kunlogado



Ni brokantis 254 librojn

北大祭出店

北海道大学エスペラント研究会

覚知頌春

北大祭で古本屋を出店し、お買い上げの人には会報を渡しました。

他に古本屋がなかったせいか、多くの人々が来場し、合計で254冊も売ることができました

。2日目には、旭川から教育大3年の目加田飛鳥さんが訪れてくれました。旭川でのピラマキや次回サハリン遠征への参加など、今後の展望を語りました。

エルプラ祭り2017（9月9日[土]10:00~15:00）

場所：3階和室の1室（何号室かは、現時点では未定）

今年も、エルプラまつりの季節がやって来ました。

エルプラまつりとは、札幌エルプラザ公共4施設を利用している市民活動団体・一般サークル団体が日頃の活動内容の発表をすることで、団体の活動を多くの市民に広めPRする機会として、また団体同士や参加者との交流をはかり、活動の幅を広げる事を目標に、年1回実施されます。毎年、7千人位の参加者があります。

我が北海道エスペラント連盟にとっては、エスペラントを売り込むまたとないチャンスです。しかも、無料で！エスペラントはまだまだ認知度が低いです。「エスペラントって未だあるんですか？」と、言う人もいます。

HELでは、「世界の平和と平等を目指す言語エスペラント」をキャッチフレーズにして、エスペラントの本等の展示、文法の手ほどき、ミニ講座の実施、外国の人々との交流の様子を写真等で展示等を計画しています。

HELの皆さん、是非、参加して応援して下さい！会場でお待ちしています。「どっこい、生きてるエスペラント！」を共に市民に知らせようではありませんか！

文責：後藤純子

* Maja SFERILo

S F E R O(San Francisco Esperanto Regional Organization)の機関誌(電子受信)、2017年5月6日の年次総会の案内号:英語とエスペラント。この会合は料理や飲み物を持ち寄った米国式のパーティー“Near May Day Potluck and Barbecue”として行われるらしい。

4月例会の報告、各地の活動報告。

* 2つの無料冊子のご案内:2017.

5.11 共謀罪法案に反対する会・代表 小松豊より。冊子のタイトルは:

「危険! 共謀罪法案」 と

「自民党憲法憲法草案批判」

無料だが送料164円は負担必要。

希望あれば取り次ぎます。

* Ponteto(Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo) Majo 2017, n-ro 282 B5x12頁、E.文なし。第66回関東エスペラント大会(5月27日、調布市)の案内、「メールのやり取りから/堀泰雄」、「エスペラント相撲で韓国が日本に圧勝」、「Verda stelo sur tombo/お墓の緑の星/堀泰雄」は前橋の古いエスペランティスト島崎敏一(1913~1946、戦場から重傷で復員後死去)のこと。

* 受講生通信:第172号、2017-06-01、沼津エスペラント会、A4X10頁のうちエスペラント文は「埋め草:沼津エスペラント会毎月の標語から」に12行。「エスペラントの催しもの」欄にHELの初夏合宿と第81回北海道E.大会。

* Novaĵoj Tamtamas: n-ro 326/majo 2017, Internacia Gazeto de Esperanto jokohama(Hama-Rondo),A4X4頁、エスペラント文。Eseoj 欄の Moderna Noo“Rekvi-Emo” - interliganta Aŭŝvicon

Kaj Fukuŝimon/Tanigawa Hiroshi は2016年11月14日国立能楽堂で天皇皇后臨席のもとで上演された日本・ポーランド国際共同企画公演新作能「鎮魂」~アウシュビッツ・フクシマの能 について。

* La Tamtamo; 第498号、2017年5月号、NPO 法人エスペラントよこはま会報。A4X8頁、日本文。ハマロンダ・ベスペーロ報告は4月15日(ザメンホフの命日の翌日)開かれた「ザメンホフ没後100年記念講演会」。学習会・講習会で読まれている本は Hanako lernas Esperanton, La Zamenhof-strato, Tamen ĝi moviĝas, Mondo de Travivaĵoj.。

* Meĵŝtono 2017 majo, n-ro 261 仙台エスペラント会、B5X12頁のうちE.文4頁半。巻頭記事は La 37-a Verda Kunloĝado en Sendai, 7月8~9日、仙台での合宿と学力検定試験。“Bonvenon al Esperanto”は4月29日仙台市民活動サポートセンターで開かれた市民向けE.広報。フランスから Ges-roj Senecal が出席、S-ro S.はノルマンジー公ウィリアムの英国征服にかかわる文化遺産について講演した。

* Trista Novaĵo de Sakramento / Sad News from Sacramento 2017年05月23日:Sferilo から電子受信、E.と英文。カリフォルニア州サクラメントのE-isto Doug Leonard の死亡通知。

* June / Junia SFERILo 2017年05月25日(電子受信):Sferilo 7月号、E.文+英文。6月例会通知、行事予定など。June / Junia SFERILO 2017年05月25日

* La Movado:関西エスペラント連盟(KLEG)発行、N-ro796, junio 2017.:B5x16頁のうちE.文5頁。

Kajero *Libervola* の Ksitigarbo
aŭTerfekundulo/HIROTAKA Masa-
aki は仏教用語について。書評・節
英のすすめ/渡辺克義 は話題の本
についての丁寧な分析。外国人の
寄稿 2 編: Sin prezentas Siva el
Barato/Kotha Naga Siva Kumar
と En radio-programero mi paro-
Lis/Maria lourdes MARTINEZ.

* NOVA VOJO :N-ro 540 junio
2017, EPA(エスペラント普及会)、A5
X34 頁のうち E.文 2 頁。"Kaprica
Monata skribo 28/月刊カプリー
ツァ(その 28)/奥脇俊臣"は 人類愛
善会会員だった助成解放運動家
平塚雷鳥について。「報告」はエス
ペラント研修旅行 en 韓国/田淵八州
雄。裏表紙には今年の韓国での世
界 E 大会の案内と会場写真。

* LA VERDA TERO:ORGANO DE
NORD-ORIENTA ESPERANTO-
LIGO N-ro 66, JUNIO 2017,
A4X14 頁のうち E 文 3 頁半。第 58
回東北エスペラント大会(10 月、米
沢)の案内、本大会での朗読コン
クール課題文、La 37-a Verda
Kunloĝado en Sendai(7 月)への案
内、2017 年度東北連盟・亀井地方
会の活動中間報告、編集後記(前
号記事の訂正あり)。

* La Informilo de Nagoja Esper-
anto-Centro/センター通信 284 号、
15 2017 年 6 月 9 日:名古屋エス
ペラントセンター発行、B5X16 頁のうち
E.文は半ページ。内容:
名古屋エスペラントセンター訪問(山
川節子)、Vizito al Nagoja Esper-
anto Centro(Yamakawa Setuko)、
エスペラント・セミナーオ参加者の
センター訪問について(鈴木善彦)、

林好美さん関連のニュース(山田
義)、2017 年度センター委員長とし
て(山口真一)、総会報告、2017 年
度委員会文章・行事案内・お知らせ、
活動日記・編集後記。

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 327/
junio 2017, Internacia Gazeto
de Esperanto jokohama(Hama-
Rondo),A4X6 頁、エスペラントよこは
まのエスペラント文会報。カラー印刷。
エスペラントよこはまが展示会のた
めに集めた各国の 28 冊の国語教科書
がカラーで見られる。HEL で出した
Ainaj Jukaroj(アイヌ神謡集)の E.訳
監修をいただいた横須賀の松葉菊
延さんが 1989 年に 25 か国から約
100 冊の教科書を集めていたことも
Postparolo で紹介されている。

* La Tamtamo; 第 499 号、2017 年
6 月号、NPO 法人エスペラントよこは
ま会報。A4X8 頁、日本文。トップ記
事は第 104 回日本エスペラント大会
(11 月、横浜)。「学習会・講習会だ
より」では Eseoj クラスの読んでいる
"Tamen ĝi movigas!"がよく話題に
上る。

* Eskalo:川崎エスペラント会機関誌
2017 年 6 月 28 日発行、第 165 号
(2017 年第 3 号):B5X8 頁のうち
E 文は合計 36 行ばかり。トップ記事
は「韓国から Onia が来会!、山中
湖畔で「エスペラント濱け合宿」、
など活動報告、連載中の「ザメン
ホフの”人類という夢”/北川久」は第 5
回。

* NOVA VOJO :N-ro 541 julio
2017, EPA(エスペラント普及会)、A5
X34 頁のうち E.文 4 頁。毎号 E.日
対訳で出ている「月刊・カプリーツァ/
奥脇俊臣」は「二代教主出口すみこ
(24 ページへ)

Protokolo de la 4-a Komitato Kunsido de HEL/Kasjaro 2017
2017年度 第4回北海道エスペラント連盟委員会 議事録

日時：2017年5月7日（日） 13:00～14:15

場所：札幌エルプラザ2階 会議コーナー12名用

出席者：横山（司会）、後藤（純）、後藤（義）、山下、星田、阿部、川合（記録）

[組織]（川合）

- ・新規加入者：なし。
- ・退会者：なし。
- （現在会員数は40名）

[財政]（阿部）

- ・予算は順調に執行している。

[広報]（横山）

- ・HP：アクセス数75,608件（2ヶ月前比+278）になった。
- ・メールマガジン：5月8日に第172号を409部発行した。初夏合宿の案内（JEI検定など）、苫小牧E会の案内を載せた。

[情報・宣伝]

- ・4月22日～28日、札幌エルプラザにて、堀泰雄氏（群馬県）の「東日本大震災遺品展」を開催。期間中の一般来場者は50名弱（後藤（義））。

[教育・研究]

- ・札幌E会：土曜例会ではT.Sekelj著『GAMBO, RAFIKI』を読んでいる（後藤（義））。月曜例会は休止中。
- ・苫小牧E会：月2回の会合で『Kredu min, sinjorino!』を引き続き読んでいる。中心メンバーは星田と韓国人男性（星田）。
- ・北大E研究会：現在、活動休止中（横山委員長確認）。

[機関誌]（星田）

- ・5月7日、「Heroldo de HEL」第171号（18頁）、90部印刷・発行。
- ・次号は次回委員会時発行。
- ・毎号、使われない残部が出る状態が続いていることから、次号より発行部数を減らして80部とする（全員一致）。

[年間計画]

【初夏合宿】(後藤(純))

・案内チラシ(一般向け)を地下歩行空間、かでの 2.7、札幌エルプラザ、北大図書館に配架した。

・クラス分けと講師予定

入門：阿部

初級：横山(参加者少数の場合は中級クラスを受講する)

中級：星田

会話：川合

子ども：後藤(純)

※入門クラスにとくに力を入れたい。

・資料について(入門クラス用)

冊子『国際共通語 E への招待』(JEI)は、新しい versio のものを使用する。

(←JEI に注文、取りよせる)

発音の教材として、『まるごと E 文法』(藤巻謙一著)の第 1 課を使う。

・部屋割り：昨年と同様。

・受付：6月3日(土)12:30より、阿部委員が開始する。

・北大 E 研究会は北大祭に出展するため、合宿には参加できない。

・昨年同様、ゲーム(リレー会話)と歌(星田委員指導)を行う。

・合宿中に実施する JEI 学力検定試験の受験申し込み者は 3 名(2 級 1 名、3 級 2 名)。JEI への申し込み連絡は星田委員、受験料振込は後藤(純)委員が行う。

・試験開始は 6 月 3 日(土)9:30 とする。

【北海道大会】

・外部講師：マルセロ・ユウジ・ヒモロ氏に依頼して、承諾を得た。内容は未定なので、ご本人に意向をきく(横山)。

・一般向け案内チラシ：8月に作成して、9月に配る(川合)。

・連盟総会の後に、各自の活動報告(例：ソウル UK)などを入れたい(星田)。

[社会活動]

・エルプラまつり 2017 は 9 月 9 日(土)の予定。←市民活動サポートセン

ターからの情報

[次回委員会]

2017年7月16日(日)13時より。場所は札幌エルプラザ2階会議コーナー(18名用)。議題は北海道大会の詳細、ほか。同日10時より機関誌の印刷を行う。

(21ページより)

に会いたがっていた徳富蘇峰」。

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 328/ julio 2017, Internacia Gazeto de Esperanto jokohama(Hama-Rondo), A4X4 頁、エスペラント文。Eseo 欄に"La kaŝita fakto pri la Knabino portanta rugajn ŝuojn/ AIDA Kiyoshi"は「赤い靴はいてた女の子」のはなし。

* La Tamtamo; 第500号、2017年7月号、NPO法人エスペラントよこはま会報。A4X12 頁、日本文。1967年発行されて50年後、今回500号を迎えた。私も含め多くの人の記念投稿が出ている。読書会報告は "Serpentoj en la puto/Istvan

Nemere"、イスラム過激派のテロを扱ったもの。

* La Movado: 関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行、N-ro 797, julio 2017, B5x16 頁のうち E.文 3 頁。巻頭記事は第65回関西 E.大会(6月、豊中市)。公開番組は桂福点さん(全盲)の落語、一般市民40人参加、大会参加者は182人。Kajero Libervola は Tri principoj de la Japana Konstitucio/KITAGAWA Syozi, 連載。ニューヨーク最新エスペラント事情/Maki SANO, 「宮本[日エス]のおもしろい表現的/場勝美」。

[編集後記/Redaktanto parolas]

*6月初めの初夏合宿、今年は学生の参加がなく残念でしたが それなりに収穫がありました。中級クラスでの「JEL検定試験の研究」は なかなか面白かった。この号の記事の文の3分の2がこの合宿関係です。
*第1日(6月3日)朝からの検定試験は「想定外」事件が多く、受験を申し込んだ3人のうち受験できたのは3級1人だけ。合格でした。Gratulon!!!!

HOKKAIDA ESPERANTO-LIGO

*Redaktas la Organo Fakto de JEL

o'e HOSIDA Acusi

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOWAI

053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS: 0144-74-2539

Retadreso: hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

*Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 100, Simin-Katude-Sapoto-Senti

Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3

Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

TEL-FAKS: 0126-35-7153

Retadreso: kunespere@olive.plala.or.jp

*ITF-ejo : <http://www.hokkaida-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm>

*Postgirkonto (郵便振替) : 02700-6-17075

北海道エスペラント連盟

*編集: 連盟機関誌部

〒053-0844 苫小牧市

宮の森町2丁目18-18

星田 淳 方

*事務局: 川合由香

〒060-0808 札幌市北区

北8条西3丁目札幌エルプラザ

市民活動サポートセンター レターケースNo.100